

いずみ

6

2021

社会福祉法人 泉会

泉会事務局
〒157-0076
世田谷区岡本2丁目33番23号
TEL 03(5429)6721(代)
FAX 03(5429)6722
info@izumikai.jp
https://izumikai.jp/

本年度の聖句

あなたがたの天の父は、求める者に良いものをくださるにちがいない。
だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。

(「マタイによる福音書」第7章11節～12節)



マスクにマイクカバー。楽しく安全に歌いましょう。(日の出舎)



ゼロの価値

理事長 佐分利 正彦



我が国でも昨年2月に始まった新型コロナウイルス感染症の流行は、2度の緊急事態宣言を経てなお収束する気配がありません。むしろ、遺伝子情報に変化した変異株の出現もあって、さらなる流行が危惧されています。

そうした中であって、本稿を書いている4月半ばまで、泉会の各施設では職員にも利用者にもまったく感染者が出ていません。各施設は利用を制限するようなことをせずに過ごしてきました。身体障害者施設では、利用者支援の際に身体が接触する機会が多く、厳密に3密を避け続けることは不可能です。ですから、感染者ゼロを続けるには、細心の感染対策を日々行う必要があります。市中でコロナウイルス感染が広がる中では、泉会関係者にも近親者が濃厚接触者となることもあって、施設長からその都度状況を伝えるメールが私にも届きました。施設関係者の感染者がゼロであることは本当に貴重で、評価されてよいと私は考えます。実は、日本国内の数多くの福祉施設は泉会と同様に、感染対策を徹底的に行いながら、支援を継続してきています。施設のほとんどで、感染者を出していないのではないかと想像します。しかし、感染者を「ゼロ」に抑え続けることが評価されることは少ないと思います。

エッセンシャルワーカーということばが、今回のコロナウイルス感染をきっかけとして世に知られるようになりました。考えてみると、泉会などの福祉施設だけでなく、医療や交通・物流など、社会活動に不可欠な現場における人々の活動の中には、例えば「感染をゼロに抑える」というような、評価されにくい(評価の対象からはずされている)ものが多々存在しているのではないかと思います。コロナウイルスがこうした今まで評価されてこなかった働きに改めて光を当てるきっかけになることを期待します。

グループホームこいのにあ

■共同生活援助 【定員8名】 健康管理、身の回りの介助等

利用者の思い描く生活の実現

利用者が思い描く生活を実現するために、職員一人ひとりが利用者の人権尊重の意識を高く持ち、各利用者の個別支援計画書に基づいた支援を行ないます。定期的なスタッフミーティングの開催や夜間時間帯のオンライン研修受講などを活用して職員のスキルアップを図ります。

経営目標

・スタッフミーティングを月1回開催します。

日の出舎

■施設入所支援 【定員45名】 入浴、排せつおよび食事等必要な介助
 ■生活介護 【定員55名】 創作的活動、運動等必要な介助、通院支援等
 ■短期入所 【定員2床】 入浴、排せつおよび食事等必要な介助

高齢化・重度化への対応

1971年に日の出舎が開設されて半世紀、利用者の高齢化・重度化が顕著に表れてきました。課題を整理して職員体制を再構築し、職員が一致団結して取り組んでいきます。

経営目標

・基本的な介護・生活支援がなされているか再確認し、全職員が実行できるように取り組みます。
 ・危険個所の再点検を行い、リスクマネジメント委員会を基軸に検討し、現場にフィードバックします。
 ・虐待防止も踏まえた人権研修を実施します。

就労日の出舎

■就労継続支援B型 【定員20名】 木工、受託作業、送迎支援等

社会参加と自由と自立

多摩産材を活用した木工製品作りを中心に受託作業も合わせ、高工賃と生活上、安全上の支援により、その人にふさわしい社会参加と自由と自立をめざします。

経営目標

・就労移行や自立生活の将来を考えて関係者のアンケート調査を行い、その検討のためには利用者と職員の委員会を組織し、次なる施策につなぎます。
 ・役割活動の導入など、従来の作業活動のあり方を見直し、何を実現するための活動なのか等、共に考え、生活世界や経験の拡大を期待した支援を開発します。

相談日の出舎

■特定相談支援 サービス等利用計画の作成等

複雑化・高度化への対応

サービス等利用計画やモニタリング報告書の作成に関わる一連の業務の他、困難事例への対応や調整も増えつつあります。中には障がい分野だけに留まらず、高齢分野の事業所や医療機関との関わりなど、業務が多岐に渡ってきています。これらに対応できるよう、スタッフ個々のスキルを向上することで、地域福祉の一端が担えるように努めて参ります。

経営目標

・現在関りのある関係機関との連携を更に深めるとともに、サービスや分野に関わらず、新たな事業所等との関係構築を積極的に進めます。

グループホームのぞみ

■共同生活援助 【定員6名】 健康管理、身の回り介助、通所支援等

感染症予防

のぞみでは、人権の尊重や虐待防止、職員のスキルアップなど、従来からの取り組みに加えて、新型コロナなどの感染症予防への取り組みにも重点を置いた1年とします。これは、特に特別なことではなく、手洗いやうがい、日々の健康確認などの基本的なことを改めてしっかりと行っていくということです。事故によるケガの防止も含めて、利用者が皆健康で1年を過ごせるように努めます。

経営目標

・研修計画を基本にしつつ、時々的重要性にも柔軟に対応した職員研修計画及び勉強会を年間最低12回実施します。
 ・第三者評価の総合的な満足度で、5名以上の『大変満足』『満足』の評価をいただきます。

法人本部

自己理解・他者理解し、職員一同協力

設立68年、確実に歩み続けてきました。新型コロナウイルスが、世界中で蔓延し、今までの日常生活が一転してしまった今、新しい日常の活動を、利用される方々とつくり出し、充実した活動や支援に取り組みます。

経営目標

・経営理念や経営方針等を明確化し法人内への周知徹底を図ります。
 ・社会、地域における福祉の発展・充実に寄与します。
 ・公益的な取組みについて、利用者、地域住民と共に積極的に活動します。

泉の家

■生活介護 【定員20名】 レクリエーション・創作・ストレッチ・野外活動等
 ■就労継続支援B型 【定員25名】 受託・せんべい・紙製品・カフェ営業等
 ■就労移行 【定員6名】 カフェ営業
 ■短期入所 【定員3床】

笑顔で通所できる施設を目指して

利用者が安心して笑顔で通所できるよう、感染拡大防止に向けた衛生管理・プログラムの工夫を図ります。災害対策や虐待防止対策におけるリスクマネジメントにも力をいれていきます。

経営目標

・感染拡大防止のため館内の衛生管理を徹底します。
 ・コロナ禍での活動の充実を図り、リモートによる交流の場を増やします。
 ・経費削減のため資源の無駄をなくします。

岡本福祉作業ホーム

■就労移行 【定員6名】 就労に向けての活動
 ■就労継続支援B型 【定員10名】 受託作業・自主生産品等
 ■生活介護 【定員24名】 作業・創作活動等

新しい施設活動様式

人権・利用者自己決定を尊重した事業活動・サービス提供を行います。また、感染予防対策による活動自粛だけではなく、新しい活動様式を考え、安全・安心の中で行う充実した活動実施を主として、事業経営を行います。

岡本福祉作業ホーム玉堤分場

■就労移行 【定員6名】 就労に向けての活動
 ■就労継続支援B型 【定員13名】 クッキー作り等の自主生産作業

経営目標

・支援・接遇に関する研修を4回実施し、法人支援ガイドラインに沿った支援の再確認をしていきます。
 ・水光熱を中心に使用状況を再確認し、経費削減の取り組みを行います。

相談支援センターおかもと

■特定相談支援 サービス等利用計画の作成等

利用者の意見を反映させて活動

利用者の人権尊重や自己決定を重点課題として事業活動を実施します。利用者の意見を反映させた幅広い活動とサービスの提供、利用者支援ガイドラインを理解し遵守することで、職員の意識向上につなげていきます。

経営目標

・モニタリング、サービス等利用計画を随時見直し、満足してもらえるサービス調整を行います。
 ・相談支援専門員のスキル向上のための研修を行います。

コイノニアかみきた

■就労継続支援B型 【定員30名】 パンや水耕栽培の作業、カフェ営業等
 ■生活介護 【定員20名】 創作活動、運動、余暇活動等

利用者の意見を反映させて活動

利用者の人権尊重や自己決定を重点課題として事業活動を実施します。利用者の意見を反映させた幅広い活動とサービスの提供、利用者支援ガイドラインを理解し遵守することで、職員の意識向上につなげていきます。

経営目標

・利用者対応マニュアルを作成します。
 ・有給休暇取得率60%を目指します。

就労日の出舎
だより

日の出舎
だより

新しい挑戦

古川 真矢

前年度は、コロナウイルスで売上が大幅に減ることをB型の職員で懸念をしていました。そんななか、奥多摩にある企業の「(株)東京・森と市庭」より依頼をうけ、家具作りに挑戦しました。この売上のおかげで前々年度に見劣りしないくらいの売上を計上することができました。家具作りは初挑戦で色々失敗もあり、とても大変な作業でした。でもこの経験を他の作業にも活かし、今後も様々なことに挑戦し、就労日の出舎を盛り上げたいと思います。



— どの製品にも自信があります —

安全運転への思い

高橋 洋郎

私は安全運転管理者を担当しています。年に一度、安全運転管理者講習へ参加し、月初には時節にあった交通安全の注意喚起を行なっています。日の出舎では職員が、送迎や通院付添い、行事など頻繁に運転業務にあたります。そしていままでプロドライバーなみに無事故無違反で過ごせており、これはとてもすごいことだと思います。日々すべての職員が、交通安全を意識し、「利用者の安全を守る」ということを考えているからだと思います。今後もこの思いを忘れることなく安全運転意識の喚起に努めたいと思います。



— 公用車がスラリ —

来春を想い、今は…

市川 美和

春といえば「桜」。例年になく室内にいる時間が長かったこの冬。2月下旬から一気に5月の陽気となりました。ふと晴れ渡る青空を見上げると2年前の事を思い出しました。2年前の4月、GHのぞみのメンバーで連れだって、花見に出かけました。咲き始めた桜の花が、春風で揺れている中利用者達は笑顔で眺めながら、出店で唐揚げ・フライドポテト・焼き鳥など思い思いの買い物をして、桜の木の下、皆でいただきました。その時の利用者の笑顔はとても素敵でした。

昨年・今年とコロナ禍の影響で、イベントの中止や縮小が相次ぎました。そんな生活も、生活の行動制限ももう少し続きそうです。それでも、雨の後にはきれいな虹がかかり、そして輝くような日常が来ることを願いながら、コロナ禍を乗り切って行けたらと思います。利用者・職員全員で、また日本の春「桜」、楽しい時間を取り戻せるように、日々の感染予防と健康維持に努め励んでいきたいです。



— 2年前の春、いつもの春 —



— 来年も、花より団子でしょうか? —

グループホーム
のぞみだより



区役所中庭販売会

泉の家 河村 律子

昨年より始まった新型コロナ感染拡大により、福祉施設においても大きな影響を受けることとなりました。特に就労継続B型事業では、地域のイベントの中止に伴い、自主生産品の販売機会が大きく減少しました。泉の家では、イベントで販売する予定の約40台の中古自転車の整備をすでに行っていました。販売機会がなくなることは、せっかくの整備も無駄になり、収入30万程度を棒に振ることになってしまいます。これはかなりの緊急事態です。世田谷区に何回か相談させていただいたところ、他にも販売機会を失っている施設が多く、相談を受けているとのことでした。



— 色々な種類のパンがあります! —

泉会世田谷エリアの4施設も積極的に参加させてもらいました。泉の家では念願の中古自転車抽選販売を行い、完売することができました。12月から販売を始めた「いずみせんべい」も好調な売れ行きです。岡本福祉作業ホーム玉堤分場ではクッキーが大人気で、毎回6千円くらいを売り上げます。コインニアかみきたではパンや野菜、メモ帳を販売しました。やっぱり一番人気はカレーパンです。



— 沢山売れますように —

岡本福祉作業ホームでは、商品サンプルを提示することで、お客様との接触をできるだけ避けるよう工夫しながら行いました。各施設、いつもの販売会とは様子が変わりましたが、利用者は久しぶりの接客が楽しく、とても嬉しそうでした。

そしてコロナ禍ということもあり、当然どの施設も感染拡大防止対策を講じての参加となりました。アルコールの持参やマスク・フェイスシールド・手袋の装着。コインニアのパンは個包装にし、中身が分かるよう写真付きのプライスカードを作りました。



— 大人気! 自転車販売 —

今回の中庭販売会では、昼休みで大勢の区役所職員が中庭に出てきて製品を購入してくれました。コロナ禍の中、現在もイベントの自粛が続き、受注作業も減っています。工賃向上は思うように進みません。外出の機会も減り、気分も減ります。そんな中で今回のような販売機会の提供はどの施設もとてもありがたかったです。是非いでしょうか。販売会開催については、感染拡大防止と天候にかけ、難しい判断だったと思います。ご尽力いただいた方にはこの場を借りて感謝をお伝えします。

泉の家
だより

感謝の気持ちで
ありがとう

熊王 城二

今年も待ちにまった「ありがとうの日」を開催しました。例年は日ごろ泉の家に来て下さるボランティアさんやお世話になっている皆様を招いて感謝の気持ちを伝えています。しかし、今年は感染症拡大防止のため開催時期を変更して、密にならないようにリモートで各フロアに分かれて開催しました。ボランティアさんへの感謝状は手渡しできず、郵送しました。

皆さんが楽しめるように、事前準備をしっかり行いました。利用者はフロアの装飾品を作り、ポスター等の絵を描きました。職員はリモートで使用するパソコンを用意し、ネット環境がつかえるかテストをして映写スクリーン等の機材を準備しました。

当日は、各事業をリモートでつないで「この人はだーれだクイズ」を行いました。職員の子供の頃の写真を映すと「どの職員かなあ」「面影があるね」など声があがり盛り上がりました。給食では職人が握ってくれたお寿司を頬張り「美味しいね!」と満足されていました。来年はいつものようにできることを願います。



心を込めて感謝状を贈りました!



美味しいお寿司
いただきま〜す!

コイノニアかみきた
だより

キッチンカーが来た!

水原 咲子

2020年度の多くの行事が中止となる中、安全な方法で楽しめることを探す1年となりました。その中の1つとして、キッチンカーを招いて食事イベントを実施しました。

事前にアンケートを取り、ハッシュドビーフオムライス、牛タンシチューオムライス、チキントマトオムライス3種類から1つ選び、豚汁と一緒に提供していただきました。

キッチンカーに食事を受け取りに行くという普段とは違うスタイルに、利用者から「車でオムライスを作ってるね」「いつもと違うね」等の声が聞かれました。

蓋を開けるとボリューム満点のオムライスに、みなさん嬉しそうな表情が印象的でした。

今後も、安全に行事が実施できるよう、いろいろな工夫をしていきたいと思います。



大迫力のキッチンカー



ボリューム満足

岡本福祉作業ホーム
玉堤分場だより

地域とともに

平田 民子

施設公開行事「地域とともに」は、その名の通り地域に根付いた玉堤分場を目指すために実施しており、毎年多くの方に来場していただいています。今年度につきましては、例年通りの開催は難しいならば自分たちから外に出てみよう、もっと地域の方に玉堤分場を知ってもらおうと考えました。

開催日は、2月25日(木)。主製品であるクッキー1袋の引換券を付けたチラシをグループに分かれ、たくさん配布しました。また、ルール決めも考え「チラシお断り」マークのある家には配布しない等の対策をしました。

当日の朝は、少し肌寒くドキドキしながら1件目のポストにチラシを投函すると、利用者から笑みがこぼれていました。チラシ投函後には、分場でお茶タイムと反省会をしました。利用者の皆さんからは「楽しかった」「行き止まりの道もあり大変だった」と声も出ていました。

配布期間を設けて施設に来ていただいた方々に利用者の皆さんとクッキーをお渡ししました。クッキー引換券第1号は小学生女子3名の方でした。全部の引換券回収数は161枚。ポスティングの難しさを痛感しながらも分場にまた新たな風が吹きました。



ポスト発見!

岡本福祉作業ホーム
だより

初めての
年度末感謝祭

陶山 智恵

利用者さん達を笑顔にするために自分達ができることは何か?コロナの影響で2020年度は毎年行っていた行事がほとんどできなくなりました。そんな中、感染症対策も考えた上で、安全に行うことのできるイベントとして発案されたのが年度末感謝祭でした。やれる事が限られている中で何ができるのか、職員間で話し合いが何度も設けられました。

その結果、年度末感謝祭では職員による出し物、岡本ホームに勤務していた職員からのビデオメッセージを上映することとなりました。

利用者の皆様に喜んでもらえるイベントにするため、業務時間の合間を使って練習を重ねたり、退職・異動した職員に連絡を取りビデオメッセージの撮影を依頼し、編集したりと、やらなければいけないことは山のようにありました。

迎えたイベント当日、不安はありましたが全力を出し切った結果、どのプログラムも大盛況に終わることができました。ゼロから考えて新しい事をする。難しくもありましたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。



サプライズのビデオメッセージ



沢山練習したダンスを披露



発見！ 私たちの 知らなかった 利用者の姿

コロナ時代のクリスマス会

就労日の出舎
影山 和美

日の出エリアのクリスマス会は毎年外部からアーティストをお呼びして音楽演奏をお願いしてきましたが、昨年のクリスマス会はコロナウイルス感染拡大防止のため、お客様を招待せず、略式で開催しました。このようなむずかしい状況から、かえって利用者の方に演奏を依頼してみるのはいかがでしょうかということになりました。

そこで就労日の出舎の利用者である金泰冨さんにもたずねてみました。金さんは、自立のために自宅からグループホームに移り、通所していますが、体操教室やピアノ教室でも学んでいる方です。すると「ピアノはいろいろな弾ける

よ」と言っていて、たくさんのお名曲が金さんの声に乗ってあふれ出てきました。そのあふれるような楽曲の中から、ご家族とも相談し、「メヌエット」「大きな古時計」「栄光の架け橋」「きよしこの夜」の4曲を演奏していただくことになりました。当日は優雅にピアノを弾く金さんの周りに利用者の方々が集まり、ウツトリと演奏に聴き入っていました。演奏が終わると盛大な拍手が巻き起こり、クリスマス会は、感動に包まれました。



2021年度 6月～9月予定表

6月

- 11日(金) 調理実習(玉堤分場)
- 25日(金) 春の収穫祭(日の出舎・就労日の出舎)

7月

- 7日(水) 利用者交流行事 ～星に願いを～(コイノニア)
- 21日(水)～8月31日(火) 夏の工作教室(玉堤分場)

8月

- 28日(土) 納涼祭(日の出舎・就労日の出舎)
- 28日(土)29日(日) 玉堤町納涼祭(玉堤分場)

9月

- 上旬 Open the Door(泉の家)
- 上旬 まるごとおかもと(岡本ホーム)
- 17日(金) 日帰り旅行(玉堤分場)

行事

7月

- 上旬 七夕まつり(泉の家)
- 上旬 砧南中学校PTAバザー(泉の家)
- 上旬～8月下旬 京西アカデミー(泉の家)

8月

- 上旬 せたがや区民祭り(泉の家)中止

9月

- 中旬 ドミニコ学園祭(泉の家)
- 下旬 こひつじまつり(泉の家)

販売会

(お知らせ)
新型コロナウイルスの影響で記載の予定が変更や中止となる場合があります。また、恒例となっている行事につきましても、中止とさせていただいているものがあります。詳しくは、各事業所までお問い合わせ下さい。

■ 法人本部 泉の家

〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
TEL:03(3417)3451(代) FAX:03(3417)3463
izumi@izumikai.jp

■ 岡本福祉作業ホーム

〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
TEL:03(3415)3366(代) FAX:03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp

■ 相談支援センターおかもと (岡本福祉作業ホーム内)

soudan-okamoto@izumikai.jp

■ 岡本福祉作業ホーム 玉堤分場がヌール玉堤B1F

〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
TEL:03(5707)9431(代) FAX:03(5707)9433
tamatumi@izumikai.jp

■ コイノニアかみきた

■ グループホームこいのにあ
〒156-0057 世田谷区上北沢1丁目32番14号
TEL:03(5316)2251(代) FAX:03(5316)2252
03(5316)2254(グループホーム)
koinonia@izumikai.jp

■ 日の出舎

■ 就労日の出舎
■ 相談日の出舎
〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
TEL:042(597)1451(代) FAX:042(597)2205
info@hinodesha.org

■ グループホームのぞみ

〒197-0804 あきる野市秋川2丁目3番1号
TEL:042(533)3608
FAX:042(533)3609

編集|後|記

利用者の方と過ごす日々は笑顔であふれています。
感謝の気持ちを忘れずに今年度も笑顔あふれる機関誌を届けられますように。 玉堤分場 上原 優和

発行所
障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072
東京都世田谷区祖師谷103-1-17
ウエルドゥーラ祖師谷
社会福祉法人 泉会
林 瑠璃